

天災と疫病への対応

次に、八王子を襲った洪水と疫病について教えてもらいました。護岸を守るために石を入れて河川堤防として使われた蛇籠（じやかご）。天然痘を防ぐための種痘などです。疫病の感染を防ぐ方法（人が集まる場所にはなるべく出入りしないこと。精神及び身体の過労を避けること。）などを昔の人々も今の私たちのように心がけていたことがわかりました。



生徒の報告

1年生の□□□□さんは日光市、苫小牧市がなぜ八王子市の姉妹都市になったのかの発表です。同じく1年生の□□□□さん、□□□□さんは資料館の二階に展示されている明治～昭和時代に使われていた物品についての報告をしてくれました。

□□□□さんの報告

八王子の姉妹都市

皆さんは八王子の姉妹都市がどこだか知っていますか？



なんと八王子の姉妹都市は、日光だそうです。私は全く知らなかつたのでとてもびっくりしました。

なんで日光が姉妹都市なのかというと昔千人同心という人たちがいたからです。千人同心っていう人の拠点は

千人町今のが西八王子辺りでした。そこに幕府から与えられた大きな屋敷がいっぱいあり、そこには千人頭の部下の千人同心が住んでいました。

この人たちは元々甲斐の武田の家臣でしたが武田信玄が滅んでしまったので今度家康の部下になります。家康は千人同心たちを、八王子は関東の重要な要だからということで配置します。そしてせんに千人同心は八王子に来ます。

その千人同心の人たちは、関ヶ原の戦いや大坂の陣とかの有名な戦いにも出ているのですが、江戸時代になると戦いがなくなります。そうするとやることがなくなってしまうので何をやるかというと日光火の番をやります。日光火の番というのは日光東照宮は家康のお墓なのでそれを火事から守るためにいわゆる消防士の役割で日光に行き日光東照宮を守ります。八王子から日光まで三泊四日歩いて行き、そして日光で消防士としての活動をしてまた戻って次の班に交代するということを繰り返して守っていました。このような日光東照宮などの火の番を勤めた縁で、昭和49年（1974年）に、八王子と日光は、姉妹都市の盟約を結びました。

八王子は北海道の苫小牧市とも姉妹都市！？

また八王子の姉妹都市は日光だけでなく、北海道の苫小牧市も姉妹都市です。なぜかというと、八王子の千人同心は1700年くらいに北海道の開拓のために北海道まで行っています。その時に苫小牧の辺りを開拓しました。自分達が住んでいるところを開拓してくれたということで、苫小牧の人たちに尊敬されていました。ただ、あまりにも寒かったので開拓して生活するというのはできなかったので千人同心の人たちは八王子に戻って行きました。

感想

今回初めて八王子郷土資料館に行きました。私は八王子の歴史については、あまり詳しくないのですが、係員さんの詳しい説明を聞きとても面白かったです。楽しかったです。今回の説明の中で一番びっくりしたことは、八王子が日光の姉妹都市だったことです。修学旅行に行く理由ともなっていたと聞いた時は本当にびっくりしました。修学旅行で日光に行った理由を考えたこともなかったので知れてとてもよかったです。

[TOP](#) | [内井](#) [美術](#) [G/O](#)

□□□□さんの報告



ろう石
現代でいう鉛筆のような物
石ばんに書くための石

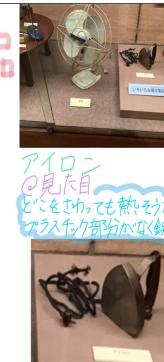


石ばん
ノートのような物で、ろう石で書いてメモをする。
一人一つずつ使っていました。

□□□□さんの報告

色んな電化製品

せんぱうき
②見相目
今よりも小さくて
手がすっぽり
入ってほしい



氷れいそう

①今と昔のちがい
電気を使わないで、
水だけで冷やす
☆使い方
上の段に氷を置き、上から下の段に
ひろ冷やす物に冷たい風を送る



□□□□は生徒名です。

